



# 営農NEWS



## レタスやハクサイの病害虫防除に努めてください

レタスやハクサイ栽培では、9～10月にかけての台風や降雨、曇天等の影響で病害の発生しやすい圃場環境でしたが、その後はやや安定した天候が続き、ほぼ順調に生育しています。

病害虫発生予報 11 月号（県病害虫防除所）によりますと、11 月におけるレタス菌核病の発生は平年よりやや多い～多い、腐敗病の発生も平年より多いと予想しています。また、ハクサイ軟腐病の発生量は平年より多い、べと病は平年並で、さらにアブラムシ類は平年よりやや多いと予想しています。

レタス菌核病の発生は、結球期以降から発生が多くなる傾向がありますので、生育の遅れている作型では今後とも予防や発生初期の防除に努めてください。腐敗病も収穫期近くになって降雨が多くなると、急速に発病進展することがありますので、十分注意してください。

ハクサイ軟腐病は、強い降雨や風、虫の食害痕、管理作業のときの傷口等から感染しやすく、多湿のときに発病進展しますので、収穫近くになっても注意が必要です。また、温暖化の影響等で、生育末期でもアブラムシ類が増殖することがありますので、注意深く観察して確認したら早めに防除に努めてください。

### 【病害防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は、発病を助長しますので、排水対策など改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考に収穫前日数に十分注意してください。

表 1 レタス、非結球レタス菌核病の主な防除薬剤（平成 30 年 11 月 21 日現在）

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アフェットフロアブル	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内 収穫 14 日前まで / 3 回以内	11
スミレックス水和剤	○		1,000～2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内	2

注）各表の分類欄には、FRAC コードを記載しました（コードが 2 つは混合剤）。同一分類（コード）は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表 2 レタス（非結球レタスを除く）腐敗病の主な防除薬剤（平成 30 年 11 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	31
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	24 と 31
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内	24 と M1
バリダシン液剤 5	800 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内	U18
アグレプト水和剤	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	25

表 3 ハクサイ軟腐病の主な防除薬剤（平成 30 年 11 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内	31
ソータルWDG	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内	14 と 31
アグリマイシン-100	1,500～3,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内	25 と 41
バリダシン液剤 5	500 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内	U18
Zボルドー	500 倍	- / -	M1

表 4 ハクサイ アブラムシ類の主な防除薬剤（平成 30 年 11 月 21 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
ウララDF	2,000～3,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	29
スタークル顆粒水和剤	2,000～3,000 倍	収穫 3 日前まで / 2 回以内	4A
アドマイヤーフロアブル	4,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内	4A
ハチハチフロアブル	1,000～2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	21A
サイアノックス乳剤	1,000～1,500 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内	1B

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



JA全農いばらき

生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040